



# ごみやにーしょん

みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

vol.  
17

“へらす”“わける”で 目指せ一步先行く ごみゼロ事業所!!



ごみ減量・3R活動  
優良事業所に認定

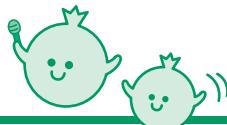
## 優良事業所訪問!

《紙ごみの分別が進んでいる2つの会社を訪問しました》



カブシキガイシャ ミツハシセイサクショ

株式会社三橋製作所



### ごみ削減のポイントは、紙ごみ

平成24年までは紙類は全て一般廃棄物として廃棄していたという同社。KESの審査登録がきっかけでごみの減量・リサイクルへの関心が高まり、分別活動を開始されました。その後、毎月排出される一般廃棄物のうち約4割が紙類であることがわかりました。

紙類をはじめ、売れるものは分別することを徹底した結果、雑がみだけでも720kg分別(平成25年度)し、平成23年度では6,000kgあった一般廃棄物が、平成25年度では1,600kgまで減少。ごみ処理費用の削減につながっています。



▲雑がみ専用の分別箱



▲昭和19年創業三橋製作所



▲雑がみの保管場所  
左からショレッダー/雑がみ類(雑誌・カタログ類を含む)/コピー類/段ボール



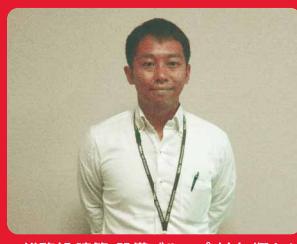
▲総務部付SR室 仲 雅宏室長(右)と  
総務部 坂口 陽介さん(左)  
「KES月例会議では現状の問題を把握し、各  
チームへ伝達して問題点を共有しています」



▲日本電産株式会社



▲紙屑専用ごみ分別表



▲総務部 建築・設備グループ 村上 翔さん



▲紙屑分別用の分別箱

ニホンデンサン カブシキガイシャ  
**日本電産株式会社**



### 高い分別意識を共有する工夫

同社は平成17年当初、デスクサイドのごみ箱から廃棄される一般廃棄物が全体の4割を占め、その8割程が紙ごみだったことから、廃棄物リサイクル率の向上と、環境負荷の低減を目的に取組を開始されました。

各フロアには写真付きの「紙屑専用ごみ分別表」が掲示され、ひと目で紙ごみの種類がわかるように工夫されています。同社の村上翔さん(総務部 建築・設備グループ)は、「再生可能なものは100%リサイクルし廃棄物を減らすことで、少しでも環境保全に寄与できるよう、この取組を継続したいと思います」と抱負を語ってくださいました。

#### ◆京都環境事業協同組合からのお知らせ

事業ごみ収集のご相談は当組合まで。

「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています!

★お客様相談窓口を、ぜひご利用ください!

**相談窓口 TEL.691-5517**

受付時間 月～金 13:00～17:00



電話してね  
気軽に

#### ◆ごみ削減に役立つ豆知識

## Communication Q&A

祇園祭の宵々山、宵山では、「リユース食器の導入」と「分別の徹底」を行った結果、燃やすごみの量は昨年と比較してどれくらい減ったでしょうか?

- ①約1割 ②約3割 ③約半分



どれくらい  
だろう?



# 事業所で分別されたプラスチックはどうなるの?①

## マテリアルリサイクル

廃プラスチックをそのまま原料にして新しい製品をつくる方法を、マテリアルリサイクルといいます。発泡スチロールやPPバンドのように、単一素材でできており、汚れや異物が混ざっていないものが再生に向いています。ベンチ、土木建築資材、繊維、シート(卵パック、クリアファイルなど)などの製品に生まれ変わります。

### マテリアルリサイクルの流れ



参考:一般社団法人プラスチック循環利用協会HP

上記以外にも、プラごみを分解して化学原料にするケミカルリサイクルや、ごみの焼却熱を利用して発電などに役立てるサーマルリサイクル(エネルギー回収)もあります。限りある資源を大切にし環境負荷を減らすために、コスト面もあわせて実現可能なりサイクルを心がけていきましょう。

～次回はサーマルリサイクルの一環、固形燃料化(RPF)について紹介します!～

## ごみちゃんねる

### 一般廃棄物収集運搬業優良事業者を認定

京都市では、一般廃棄物収集運搬業許可業者を対象に、環境への配慮、事業の透明性や危機管理体制の確保などの厳しい基準をクリアした業者を、優良事業者として認定しています。平成26年度の優良事業者としては20社を認定しています。

**優良事業者(認定順):**伏見クリエイト(株)、(株)山本清掃、(株)大剛、小坂産業(株)、東山管理センター(株)、(有)エヌズトランス、(有)丸加清掃、(株)ナプラス、(株)ヤマネ、竹之内運送(株)、(有)平塚商事、(株)グリーンテクノ、(株)タカノ、(株)オカムラ産業、(株)木村商店、(有)森商店、フロムメンテナンス(有)、(株)アイリンク、テックス・カンボ(株)、サガワ産業(株)

### 京都環境事業協同組合が交通安全運動研修会を開催(9月11日)

京都府交通対策協議会に9月1日付で加盟した京都環境事業協同組合が、交通安全運動研修会を開催しました。当日は約100名が参加し、交通安全意識の向上に努めました。また、葛野大路九条交差点にて啓発活動を行いました。



▲啓発活動の様子

GOMI

...

## Communication Q&Aの答え

### (3) 約半分!

昨年は燃やすごみ約59トン、分別された資源ごみ約1トンでしたが、今年は燃やすごみ約32トン、分別された資源ごみ約10トンでした。



下記ホームページに一般廃棄物収集運搬業許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

京都市一般廃棄物許可業者

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>

## 京の知恵

京都の各大学が行うごみ減量活動をリレー形式で紹介!

### “サステイナブル・キャンパス”で環境教育を 京都工芸繊維大学

平成25年度に「ごみ減量・3R活動優良事業所」に認定された京都工芸繊維大学。全国の大学を対象にした平成25年度のエコ大学ランキングでは総合4位、セクション別の2部門(\*)では1位を獲得するなど、その取組は高い評価を得ています。



かねてより環境目的・目標の一つに「廃棄物の3Rを積極的に推進する」をあげ、リデュースだけでなく、リユース、リサイクル全てに力を入れています。平成6年には新しい廃棄物集積場と、資源回収リサイクル用のごみ箱を大学構内に設置しました。廃棄物の搬入についても、指定の透明袋に識別番号を記入後、記帳して指定場所に正しく搬入することを義務づけています。

また同大学が掲げる理念に、地球環境に大きな負荷をかけない大学生活を意味する、“サステイナブル・キャンパス”があります。その一環として、平成24年から「環境安全教育デー」を実施し、廃棄物に関する講演会や防災訓練を積極的に行ってています。

今後の課題について、同大学環境科学センターの山田悦教授(上記写真)は「環境面だけではなく、安全の確保・維持に関する理念を高めていきたいです。将来的には防災機能・防災拠点として、地域社会の安全安心をも視界に入れた取組を行い、環境と安全の両面から、社会的貢献と社会的責任を果たすことが必要だと思います」と語ってくださいました。

先進的な取組も多い同大学。今後も京都市の環境活動を牽引する存在として、活躍が期待されます。

\*マネジメント部門、コンプライアンス・アカウンタビリティ部門



▲廃棄物集積場で分別を徹底



▲資源回収リサイクル用のごみ箱

※この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

発行: 京都市環境政策局ごみ減量推進課

京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8階

TEL:075-213-4930 FAX:075-213-0453

